



紺碧

調布稲門会 会報
2016.1 No. 43号
事務局 〒182-0034
調布市下石原 3-62-3
Fax 042-487-1154
E-mail toumonkai@gmail.com
編集責任者 五十嵐真 高原浩



福祉バザーで画期的な成果 --稲門会過去最高の寄付額

編集担当幹事 高原 浩(昭44法)

調布稲門会は地域貢献の柱として毎年全力を挙げて取り組んでいる「調布市福祉まつり協賛バザー」(2015年12月6日)で、今回、画期的な成果を収めました。調布市社会福祉協議会(主催者)への寄付金が前年比2倍近い26万8311円。これは過去最高の寄付額です。半年前から周到な準備を重ねたこと、幹事総出を合言葉に問題意識を持ってバザー現場で汗を流したこと、また会員のご協力(商品寄付など)もこれまで以上に頂戴できたことなどが後押ししたものと思われます。特に今回は活発な女性パワーが目立ちました。

バザー会場は前年から調布駅南口広場になり、今回は奉仕団体・大学OB会など約30団体が出店。中央にはステージや模擬店、休憩スペースが設けられ、日曜日、好天とあって家族連れなどで大賑わいでし

た。稲門会に割り当てられたスペースはステージに最も近い左側2小間と好位置。四隅に急ぎ校名入り幟6本と内部仕切りの梁に「調布稲門会」の旗を掲げ、「雑貨・小物」「かばん・靴」「衣類」「陶磁器」などのコーナーと稲門会名物「焼き餃子」コーナー



を設けました。午前7時過ぎに、中型バン2台分の大量の段ボール箱を、例年、商品の仕分け・値付け会場にさせて頂いている爽爽荘(飛田給)などから運び込み、大急ぎで商品を陳列しました。そして午前9時半から販売開始。棚に載せ切れない商品箱が

外に溢れ出し、そこにもお客が殺到して大混雑の状態が昼過ぎまで。餃子コーナーにも少年野球の子供ら大勢のお客が訪れ、1パック200円の餃子に舌鼓を打っていました。

出店した市内の大学OB会(早稲田、慶応、明治、中央、東海、学習院)中、人出と商品の多さでは早稲田が群を抜いていたように見えました。これは今後の大きな自信に繋がりそうです。

12月9日に椎原大典会長、石井宏和副会長、それに今回バザーの総指揮を執った山田和子副会長の3人が社協を訪れ、売上金のうち26万円余の寄付金を

届け、大いに感謝されました。寄付額はこれまでの最高で、ちなみにここ数年の推移は2012年14万2968円、2013年8万4673円、2014年14万1960円でした。

「女性の協力者が増えて寄付品の量が確保できました。また2015年導入の地区担当幹事制が機能して会員とのコミュニケーションが円滑になったことも大きいです」(山田副会長)と、これまでの努力と苦勞が報われたという達成感と、次回以降への手応えを十分に感じさせるものでした。(冒頭ワイド写真は五十嵐眞会員撮影)

三多摩地区の表玄関都市「調布」を意識した稲門会活動を――新年に当たって

会長 椎原 大典(昭35政経)

新年明けましておめでとうございます。平成28年(2016年)の年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。会員、準会員の皆様方に置かれましては、清々しく健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。



さて昨年一年間を振り返ってみますと、一昨年秋に打ち出された政府のSGU(スーパー・グローバル・ユニバーシティ)制度の基本方針の下に、早稲田大学当局もグローバル化に向けてまず大きく第一歩を踏み出しました。

他方で地域社会に役立つ大学のあり方等につきましても皆様方の一層のご関心とご理解を頂き、特に東京23区と三多摩地区の存在感が全国レベルの中で大きく増し、とりわけ調布市は三多摩26都市の中でも2020年の東京オリンピックの開催に当たり唯一の

競技開催都市に指定された訳であります。これには私ども調布稲門会の歩むべき方向性が示されていることと考えます。

幸いにして緑と自然環境にも恵まれ、調布市は超高齢化社会の到来を前にして、一時心配された多摩地区がオールドタウン化されつつあるのではないかと懸念とは反対に、多摩地区の表玄関都市としての役割が増し、そうした流れに沿って今後の稲門会のあり方も考えていかねばならないものだと思います。

本年もまた昨年につき地域社会との対話の機会を増やし、会員数の増加と活性化を図りながら、当稲門会に課せられた課題と使命を全うすべく努力を積み重ねていく所存です。どうか会員、準会員の皆様方のお一層のご理解とご支援を頂きたくよろしくお願い申し上げます。

最後に私の好きな言葉(モットー)を申し上げます。

- 一、「頑張っているね」の一言で、勇気と力が湧いてくる。
- 二、躓いちゃっていいじゃないか。人間だもの。
- 三、水を飲む時は、井戸を掘った人の苦勞を思え。皆様方のこの一年の一層のご清栄とご健勝を祈願しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

稲門会の新規プロジェクト「キテネ」始動—ANA工場見学、秋季早慶戦応援

幹事 松野 宏(昭43教育)



2015年5月の椎原新体制発足を機に「調布稲門会はこれからおもしろい」というキャッチフレーズの下、新規プロジェクト「キテネ」を発足させ、躍動感のあるイメージづくりに乗り出しました。総会参加者へのアンケート調査で「自分が好みとするイベント」では「工場見学」の人気の高かったため、手始めにそれを採用、その名も「調布稲門会で行くANA機体メンテナンスセンター見学」。7月下旬に17人で挙行。ついで「キテネ」第2弾として10月下旬、秋季早慶戦の応援に7人で行きました。

参加者募集に当たっては年会費を払っているが会の活動に参加していないという方の参加を強く期待したのですが、参加者は結果的に役員、幹事を中心にしたものになりました。もっと大勢の会員に参加して頂ける様、一層の好企画を立案して参ります。

さてANAの工場見学ですが、羽田にある全日空の整備工場へ7月29日(水)に行ってきました。ANAの工場見学は同社のヒット企画のためか、会場は夏休みの小学生やその引率者が多数見られ、その様はまるで孫(小学生)と祖父母(我々)のご対面という風景でした。AV室の大スクリーンの映像を見ながら美人ガイドのクイズで沸き、飛行機がなぜ飛ぶか、旅客機のどこを見たらその種類が分かるか、1機の飛行機を飛ばすのに関わる人員やその仕事は何か等の話に興味津々の面持ちでした。

その後、ヘルメットを着用し、第1工場、第2工場を回りました。目の前を轟音を立てて旅客機が発

着する様は壮観で、轟音の合間を縫って飛行機の間近で話を聞きました。飛行機は突発的な整備のほか、定期整備といって300回運航すると工場整備するそうで、巨大タイヤも交換でなく擦り減ったゴムに新たなゴムを巻きつける、という説明でした。晴天酷暑の中でしたが、非日常の時間をたっぷり楽しむことができました。その後羽田空港での打ち上げでグイッと干したビールの美味しかったこと。

続いて10月31日(土)、早慶戦の応援です。時折薄日のさす曇天模様の中でしたが、学生たちとともに一生懸命応援してきました。試合は2対1で母校が勝ち、翌日の勝利と合わせ春秋2連覇を果たしました。神宮に出かけるのは参加者のほぼ全員が卒業以来初めてといい、中には50年ぶりといって感極まる人もいました。割り当てられた席は学生応援席の、それも最前列近く、なんと女子チアリーダーが演技するすぐそばです。男子応援部員のリードで進むのは昔と同じ。「学生、注目!」と叫べば、応援席から一斉に「なんだ!」と応じる。その掛け合いが絶妙で思わず笑む。また「早慶讃歌」という応援歌があったとはつゆ知らず、双方をたたえ合う詞と曲に聞き惚れました。校歌と応援歌「紺碧」は稲門会の総会で歌うそれとは同じで違う、と痛感。

早慶戦という場がそうさせるのか目頭が熱くなるものがあり、誇りと幸福感に全身がシビレました。調布に戻りビールで打ち上げをし、次回こそ大勢を誘おうと誓い合って解散しました。

生き生き！みんなの同好会活動

3世代集う茶話会や昼食会、賑やかで楽しく――「食歩会」改め「女性の会」

代表 山田 和子(昭49文)

2015年から、2005年に活動を開始した「食歩会」を「女性の会」と名称変更し女性会員・準会員全員に参加して頂ける会にしました。旧食歩会同様、年2回の散策を兼ねたレストランでの食事会、年1回のリーダー(山田)自宅での茶話会に、新たに2ヵ月ごとの近場での昼食会(軽食会)が加わりました。

昼食会には、諸事情により遠出しにくい会員も気楽に参加出来るようになり、20歳代から70歳代の会員12~15人が、毎回顔ぶれを少し変えながら、話に花を咲かせています。

2015年11月22日(日)に恒例の茶話会を私の自宅で行いました。参加者は18人(うち子供2人)。その2週間後の調布市福祉バザーへの寄付の品物も持参して頂きました。参加者のうち近藤家は千華子ちゃん(3歳)を含めた3世代で、山田あかねさんは瑠碧ちゃん(1歳半)を連れての参加でした。この子供たちが将来の調布稲門会を背負ってくれるかもしれません。

子供たちの微笑ましい仕草に和まされ、また入会予定の松村葉子さんと五十嵐一美さんが同じ高校の同期生だったという思いがけない出会いなどがあり、和気あいあいの楽しい会となりました。

〈参加者、敬称略〉

五十嵐一美、石田尚子、大谷裕子、唐川とし子、川島秀子、近藤清華・千華子、近藤三枝、高崎美恵(入会予定)、竹下裕美、塚田碧、野村真知子、坊野美代子、松村葉子(入会予定)、村上溢恵、山田あかね・瑠碧、山田和子

〈当日のケーキメニュー〉

- ・胡桃入りバナナケーキ ・小豆入り抹茶ケーキ
- ・生姜風味洋梨のタルト ・テラミス
- ・シュガーコーティングアーモンド
- ・五穀入りビスケット ・チョコレート
- ・紅茶(Countess Grey)

*チョコレート以外は手作りです。

単独コンペと三田会との懇親コンペを春秋2回ずつ開催――ゴルフ同好会

代表 安松 董矩(昭37教育)

調布稲門会ゴルフ同好会は平成27年(2015年)も例年通り、稲門会だけのコンペと三田会との懇親コンペを春秋2回ずつ開催しました。稲門会単独コンペは昭和58年から、三田会との懇親コンペは昭和63年から継続開催されています。

さて2015年度は4月7日(火)の川崎国際GCでの単独コンペが最初の活動となるはずでしたが、当日の朝、参加者全員クラブハウスに集合したものの、生憎の雨と花冷えの寒さが厳しく協議のうえ、中止となりました。若い頃、多少の雨など気にかげずに張り切ってスタートした当時が懐かしく思い出されました。

秋の単独コンペは今回も山形純夫さんのお世話で、9月7日(月)に川崎国際GCでの開催となりました。大先輩の林貞夫さん、そして久しぶりに下村邦

夫・美智子ご夫妻が揃って参加して下さり参加者は12人でした。以前、香山弘之さんが幹事役の頃はしばしばこのコースでのプレーを楽しんでいましたが、最近はずっかり足が遠のいており、今回は久しぶりのコンペ。当日は早朝まで降っていた雨も、天気予報によれば日中は曇天ながらもプレーができそうだということで、皆さん天候を気にしながらのスターとなりました。

調布から数キロと大変近い位置にあるこのコースは井上誠一氏の設計で1952年に開場、女子プロトーナメントも開催された戦略性に富んだコースで、グリーンも小さくかなり難しく出ています。皆さんスコアメイクに大変苦労しながらも楽しい1日を過ごすことが出来ました。

競技終了後も表彰式はレストランで実施。栄えあ

る優勝は川崎浩さん (net72.4) でした。川崎さんは「実は退院して間がなく今日はリハビリのつもりで急きょ参加したのですが、凶らずも優勝できて大変嬉しく思っています」と喜んでいました。準優勝は芦沢友雄さん (net75)、3位は五十嵐眞さん (net76.4) でした。

なお4本用意したニアピン賞は川崎さんの1つだけでした。(グリーンが小さく難しかったようです) 惜しくも入賞を逃した皆さんもゴルフ談義に花を咲かせて盛り上がり、賑やかなひとときとなりました。この席で山形さんから7月にホールインワンを達成されたとの披露があり、記念のクオカードを全員に

頂きました。おめでとうございます。

また次回のコンペでお会い出来ますこと楽しみにしています。

＜平成27年のコンペ参加者、敬称略＞
芦沢友雄、荒木淳一朗、五十嵐眞、石井宏和、石倉毅、石田欽也、岩佐豊、小笠原忠八郎、岡田文男、香山弘之、川崎浩、下村邦夫・美智子、林貞夫、平松勲、堀龍之介、望月秀雄、山形純夫、安松董矩

※ゴルフ同好会に入会されたい方、ゴルフを始めた方、いつでも歓迎します。ご一報下さい。

楽しく歌って、あつという間の3時間、奇数月開催——新生 カラオケ同好会

代表 中野 慶子(昭50教育)

カラオケ同好会は私が引き継いだ2015年半ばからこれまでに4回開催、概ね軌道に乗った感ありでしょうか。例会は奇数月の第2土曜日14時から3時間とほぼ固定、場所は新しい店がオープンすることがよくあるので固定せず、決まり次第連絡することになっています。

参加費は3000円以内、人数は毎回8~10人程度の参加。お酒など飲みながら軽くつまんで歌っておしゃべりしての3時間はあつという間に過ぎてしまいます。会のメンバー構成やレベルですが、「プロのシャンソン歌手」、「プロはだし級—発表会でカンツオーネをソロで歌うレベルの人」、「フランス語の教授

で原語でシャンソンを歌う人」、「大学卒業時点、一般会社に就職するか歌手を目指すか迷ったという人」がいるかと思うと、逆にスポーツをはじめその他のほとんどのことは平均レベル以上なのに何故か歌だけは、、、?という方など様々です。

歌は同じ人でも選曲次第で、上手、そうでもない、などあります。こういった様々な方が参加しておられる同好会ですから「歌が下手だから」と二の足を踏んでおられる方、心配ご無用です。

腹から声を出して歌うことは「身体にとってもよいこと」、「精神の安定、気分転換に重要な要素」です。歌うことに興味がある方、安心して参加して下さい。

トピックス・イベント・短信

待望の調布稲門会ホームページが誕生

イベント、同好会等の活動状況の情報を共有するため調布稲門会のホームページ(HP)を昨秋開設しました。URLは<http://choufu-tomon.jimdo.com/>です。ご覧になってみて下さい。

コンテンツは「ホーム」「プロフィール」「同好会」「会報 紺碧」「ボランティア活動」「入会申込み」「リンク」から構成されています。「ホーム」のページではトピックスとして、イベントの広報、レポートを紹介しています。「会報 紺碧」のページでは、堀龍之介幹事長のご尽力により「紺碧」のバックナンバ

副会長 岡田 文男(昭49理工)

一を収集して頂き、創刊号から最新号まで全ての会報をご覧になることが出来ます。

まだまだ産声を上げたばかりのため、情報満載とはいきませんが、今後内容を充実させていくつもりです。特に同好会の行事、イベント等の広報、レポート、同好会への勧誘等に活用して頂けたらと存じます。そのため各同好会からの情報提供をお願い申し上げます。またHPへのご要望、ご意見等がありましたらメールアドレス:toumonkai@gmail.comまでお寄せ下さい。

納涼会改め「観月会」、34人が集い懇親深める 幹事 舟久保 賢一(昭55法)



2015年10月4日(日)、秋空の下、調布駅北口の中華料理渝園にて調布稲門会の納涼会改め「観月会」が開催されました。定刻の午後4時半には出席者34人が全員揃い、椎原会長による開会の挨拶に続く堀幹事長の乾杯の発声で宴が始まりました。

出席者は4つの円卓をそれぞれ囲んで、運ばれて

くる中華料理に箸をのぼし、ビールや紹興酒を酌み交わしながら、和気あいあいと話に花を咲かせていました。あちこちから「ビール追加」「紹興酒追加」などと威勢のいいが飛び交う中、担当者から「早慶戦観戦ツアー」や「稲門祭」の案内、「福祉バザー」の呼びかけ、さらには「調布稲門会の寺子屋構想」(通塾困難な子供たちへの学習支援策)といった夢膨らむプロジェクトの披露もなされ、充実した会になりました。また同好会から太極拳の中野寛二先輩による即席の、脳を活性化する指回しの実技指導が披露されました。さらにこの6月に入会された松村啓之亮さんには奥様とご一緒に自己紹介をして頂きました。アツという間に2時間が過ぎ、応援団OBの秋沢淳雄さんの応援指導の下、全員で校歌「都の西北」を高らかに斉唱し、最後に五十嵐眞副会長の閉会の挨拶で終宴となりました。

地域社会との交流で「多摩川クリーン作戦」に参加 岡田 文男

2015年11月8日(日)、調布稲門会は新規イベントとして「多摩川クリーン作戦」に11人が参加しました。地域社会と交流し、汗を流すことで調布市に貢献するための一環です。多摩川を「きれいな親しまれる川」にしようと、昭和54年春に始まったこのイベントは多くの市民や河川敷を利用する野球少年たちとの協働により今日まで続けられてきました。生憎の小雨模様でしたが、京王多摩川駅に朝7時45分集合し、「W」マークの臙脂の帽子をかぶり、多摩川の河川敷に徒歩で向かいました。すでに多くの市民団体の人々、リトルリーグの野球少年たちが集合しており、午前8時から市長代行の挨拶を合図にごみ拾いが一斉にスタート。片手にトンゴとゴミ袋を持ち、反対の手に傘を差しながらの作業です。

夏場に大雨が降ったせいか、流されてきたペットボトルやポリエチレンの容器が川岸近くに散在しており、1時間ほどするとゴミ袋が満杯。収集場所でゴミを分別して作業終了。気持ちの良いボランティア活動が出来ました。打ち上げは女性陣は近くの喫茶店に。男性陣は予約しておいたサントリービー



ルの工場見学に行き、美味しいビールを3杯も試飲してほろ酔い気分。そして調布駅に戻り、中華料理屋で紹興酒を飲みながら昼食を取り、散会しました。

<参加者、敬称略>

椎原大典、明石純一、石倉毅、石井宏和、舟久保賢一、坊野美代子、安松董矩、山田和子、山田啓文、岡田文男、小澤みどり(在校生)

三多摩大会に参加して 幹事 嶋田 浩一(平2教育)

2015年11月15日(日)開催の早稲田大学校友会東京三多摩支部大会(開催地府中市)に初めて参加。間近で聴くパイプオルガンの迫力の演奏。そして何と云っても会場に溢れる歌声と暖かい眼差し。「ああっ、これが稲門会かあ。今ここにいる人たちってみーんな“早稲田”の人たちなんだよなあ」。最近稲門会に入会した私にとっては、受付でネームプレートを受け取った時からいささか気持ちが舞い上がっていたのですが、最後の校歌で腕を振り上げた時にはもう感極まって叫んでしまいました。懇親会でも諸先輩方の“早稲田”オーラに圧倒されっ放しの有様で、「おい、まだまだ青いぞ」と自分に言い聞かせながらも、全身で“早稲田”を満喫出来た一日でした。

秋晴れの稲門祭2015 岡田 文男

「Next Generation」のテーマの下、10月18日、秋晴れの天候に恵まれ、稲門祭がホームカミングデーとともに早大本部キャンパスで開催されました。調布稲門会は三多摩支部の模擬店「サロン・ド・三多摩」に参加、お茶を提供しました。中野慶子さんと村上勉さんがスタッフとして参加、お疲れ様でした。大隈庭園では芝生の上で車座になって酒を酌み交わす光景がいたるところに。実行委員の仕事から三多摩の模擬店に

戻ると、好天のせいか完売の寸前。店の中がごみで散らかっていたので、ごみ分別担当の実行委員としてその後片付けにも手を貸しました。(詳細は稲門会HPに)

スウェーデン講座・スウェーデン旅行のお知らせ

語ろうアースカフェ 代表 山田 和子

語ろうアースカフェ主催のスウェーデン講座は2016年2月27日(土)が最終です。時間は14時~16時、場所は調布市文化会館たづくり8階の映像シアターで、テーマは「スウェーデンの中の世界」—難民、移民、少数民族、食文化—です。最終講義のみの参加も出来ます。講座終了後のスウェーデン旅行(6月下旬、8日間の日程)を企画中で、2月末にその案内をホームページ(kataroearthcafe)に掲載します。問合せは山田和子まで kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp

会員情報(前号発行時以降の新会員ご紹介)

<敬称略、氏名、卒年・学部、入会時期>

松村 啓之亮 昭38法 2015年6月
飯野 隆子 昭58教育 2015年7月
柴多 和夫 昭48理工 2015年7月

(準会員)

石田 尚子 2015年6月
山田 佐和子 2015年7月
福島 美華 2015年7月

(各同好会の代表者と連絡先)

同好会	代表者	電話番号	メールアドレス
囲碁・将棋	大谷 暢廣 早川 政夫	042-481-0202 042-487-9610	sazuhaya@jcom.home.ne.jp
カラオケ	中野 慶子	080-5174-1863	k_nakano_2648@ae.auone-net.jp
硬式テニス	五十嵐 眞	03-3308-0898	igarashi@w3.dion.ne.jp
ゴルフ	安松 董矩	042-488-5726	s.yasumatsu@jcom.home.ne.jp
社交ダンス	元木 勇	03-3300-4554	bt22hsq4bje57t4y4qt@docomo.ne.jp
太極拳	中野 完二	042-485-0523	
麻雀	濁川 寿次	042-483-6966	
ワングル	石倉 毅 天野 凡子	090-8587-1909 042-480-2503	isicra996@jcom.zaq.ne.jp minako-amano@view.ocn.ne.jp
女性の会	山田 和子	042-488-0741	kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp
フラダンス	大谷 裕子	042-485-7489	wu5mh3@bma.biglobe.ne.jp
語ろうアースカフェ	山田 和子	042-488-0741	kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp

平成27年度 調布稲門会年会費お支払いのお願い 会計担当 石井 宏和

平成28年3月末で今期の会計年度は終了となります。年会費未納の会員の方は至急お手配の程、お願い申し上げます(この紺碧43号のお届け時に郵便払込票同封の方が未納会員です)。調布稲門会のお振込先(口座名 調布稲門会)は ゆうちょ銀行 当座 00120-8-101851 みずほ銀行調布支店 普通 0997965 です。



早大キャンパスからスカイツリー遠望 (五十嵐眞撮影)

<編集後記>会報「紺碧」の編集に携わって今号で5号目、お蔭様で2年余が経過しました。この間、調布稲門会待望のホームページ(HP)が2015年秋にスタート、そのコンテンツもニュースやトピックス、「紺碧」のバックナンバーなど漸次、充実してきています。会員の皆さんの日常的な情報源としてぜひ閲覧、ご利用頂ければ幸いです。会報とHPの内容のダブリという課題もありますが、そこは機能面で2つのメディアをうまく補完するようにしていきたいと思えます。なお次号から広告欄(この下)は記事と同様、横書きに変更する予定です。(高原記) eメールアドレス: h-takahara@almond.ocn.ne.jp

<p>深大寺そば 創業文久年間 〔宴会・俳句会・御法事〕 元祖 嶋田家 住所 〒182,0017 東京都調布市深大寺元町五、十二、十 電話 ○四二、四八二、三五七八 FAX ○四二、四九九、六六五五</p>	<p>早稲田大学商議員 早稲田大学調布稲門会 会長 椎原 大典 自宅 〒182,0025 調布市多摩川三、四七、三〇 電話 ○四二、四八二、八八四八 FAX ○四二、四八二、八八四八</p>	<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 株式会社住まいるスズキ 代表取締役 鈴木 光孝 〒182,0023 東京都調布市栄地三、五、六五 電話 ○二二〇、〇八〇、二四二二</p>	<p>株式会社パルコ調布店 店長 田中 雅之 住所 〒182,0026 東京都調布市小島町一、三八、一 電話 ○四二、四八九、五〇一〇 FAX ○四二、四四〇、七六六五</p>	<p>イベント・パーティー (株)東京正直屋グループ 住所 〒331,0821 さいたま市北区 別所町二四、五 電話 ○四八、六八五、一一七一 FAX ○四八、六六八、二九七一</p> <p>相模を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 行政書士堀内綜合法律事務所 行政書士 堀内正之 〒182,0035 東京都調布市上石原三、十二、八 電話・FAX ○四二、四九九、一三〇〇 HPは「調布」行政書士 堀内」で検索</p>	<p>新しい食文化を創る 株式会社山田屋本店 代表取締役社長 秋 沢 淳雄 住所 〒182,0024 東京都調布市布田二、一、一 電話 ○四二、四八二、四五八五 FAX ○四二、四八二、四五七二 http://www.okonakan.net/</p>
<p>林建設株式会社 取締役社長 林 清一 住所 〒182,8512 東京都調布市小島町二、五六、三 電話 ○四二、四八六、一一一一 FAX ○四二、四八六、一一二〇</p>	<p>本格カレー&ダイニング エムスキッチン 住所 〒182,0024 調布市布田四、二、七 ホテルノース調布1階 電話 ○四二、四四四、二一八五 調布駅1分 飯野病院西側 月曜日定休</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 調布クレストンホテル 住所 〒182,0026 調布市小島町一、三八、一 調布パルコ8510F 電話 ○四二、四八九、五〇〇〇 FAX ○四二、四八九、一〇六六 http://www.cresthotel.jp</p>	<p>早稲田大学商議員 早稲田大学調布稲門会 顧問 元木 勇 自宅 〒182,0003 調布市若葉町二、一一、〇 電話 ○三、三三〇、四二五四 FAX ○三、三三〇、八七二八</p>	<p>相模を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 行政書士堀内綜合法律事務所 行政書士 堀内正之 〒182,0035 東京都調布市上石原三、十二、八 電話・FAX ○四二、四九九、一三〇〇 HPは「調布」行政書士 堀内」で検索</p>	<p>新しい食文化を創る 株式会社山田屋本店 代表取締役社長 秋 沢 淳雄 住所 〒182,0024 東京都調布市布田二、一、一 電話 ○四二、四八二、四五八五 FAX ○四二、四八二、四五七二 http://www.okonakan.net/</p>